

なつやすみの美術館9 水と美術 feat. 坂井淑恵

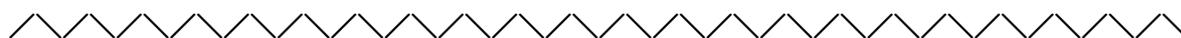
MOMAW Summer Museum Project #9: Water! feat. Sakai Yoshie

2019.07.09日 (tue) - 2019.09.08 (sun)

出品目録

- ◇出品作品について、テーマに沿って作家名、作品名等を記載しています。
- ◇展示の順序とは異なる場合があります。
- ◇同じ題名の作品は記載を省略している場合があります。
- ◇所蔵注記に所蔵者の記載がない作品は当館の所蔵作品です。
- ◇名前の後ろの※は和歌山ゆかりの作家です。
- ◇題名の訳など当館で補った註記は [] で示しています。
- ◇都合により出品作品を変更する場合があります。

- ・展示室では鉛筆を使用してください。
- ・作品にさわらないよう壁から離れてご鑑賞ください。
- ・写真撮影は可能ですが、著作権者の権利を侵害しないよう注意してください。フラッシュおよび三脚は使用できません。また、他の来館者の鑑賞を妨げないようご配慮ください。



1. 水と美術と坂井淑恵 Water & Art of Sakai Yoshie

坂井淑恵さんの作品には、水がいろいろな形であらわれています。水の中でくらししているような、水の中から水面を見ているような、水に見られているような、一面水だらけのような。

坂井 淑恵 (さかい よしえ SAKAI Yoshie/1965-) ※

苗 rice plant

2006 (平成18) 油彩、キャンバス oil on canvas 53.5×65.5 個人蔵

Green [みどり]

2019 (令和元) 油彩、キャンバス oil on canvas 181.8×227.3 個人蔵

Green House [みどりのいえ]

2005 (平成17) 油彩、キャンバス oil on canvas 181.1×259.1 個人蔵

Whale [くじら]

2017 (平成29) 油彩、キャンバス oil on canvas 112.0×145.5 個人蔵

Upside-down [さかさま]

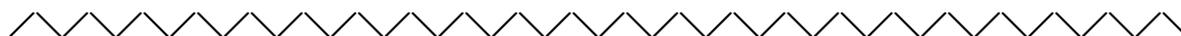
2019 (令和元) 油彩、キャンバス oil on canvas 181.8×227.3 個人蔵

も 漏れた人 Leaked

1997 (平成9) 油彩、キャンバス 130.7×161.7 個人蔵

きんぎょ twinkle little fish

2017 (平成29) 油彩、キャンバス oil on canvas 100.0×100.0 個人蔵

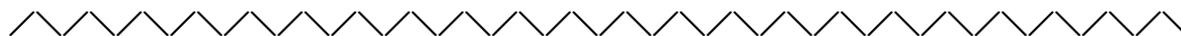


堀 香子 (ほり きょうこ HORI Kyoko/1963-)

Rooms for Water

1996 (平成8) 陶 20.0×28.0×19.0 田中恒子氏寄贈

題名は「水のための (いくつかの) 空間」。やきもので、器^{うつわ}のような形をしていますが、底^{そこ}はありません。水がたまる空間ではないようですね。器の形にしたがう水は、この作品ではどんな形になるのでしょうか。



2. みず きしやう Water & Weather

お天気^{てんき}が変わるたびに、世界^{せかい}は水^{みず}でできているように感じ^{かん}ませんか。

小河 朋司 (おがわ ともじ OGAWA Tomoji/1966-) ※

COLOR TINT -RAINBOW [ほのかな色^{にじ}合い—虹 展示室入口前に展示]

1994 (平成6) アクリル絵具、ミックスホワイト、木 240.0×30.0×23.5 作者寄贈

太陽の光が空気中の水分で曲がったり反射したりすることで、いくつかの色^{ぶんかい}に分解されて見えるのが虹です。昔の中国では生き物と考えられたので、虫^{むしへん}偏がついています。この作品は、虹の色合いを絵具から反射する光として見せています。

建畠 覚造 (たてはた かくぞう TATEHATA Kakuzo/1919-2006) ※

かさ 2 Inverted Umbrella 2

1974 (昭和49) アルミニウム 50.0×125.0×120.0 建畠嘉氏寄贈

傘^{かさ}が逆^{さかさ}になると、雨を受ける 盃^{さかずき} になります。

ホックニー、デヴィッド (HOCKNEY, David/1937-)

てんこう 天候シリーズ The Weather Series

1973 (昭和48) 石版、紙

1 陽光 Sun 94.8×77.8/2 雨 Rain 99.8×80.5/3 雪 Snow 101.8×85.1

4 風 Wind 101.7×78.6/5 霧 Mist 94.1×81.2/6 雷 Lightning 100.0×80.4

いろいろなお天気^{てんこう}にいろいろな形の水が関係しています。

中西 學 (なかにし まなぶ NAKANISHI Manabu/1959-)

THUNDER [かみなり]

1988 (昭和63) 発泡スチロール、アクリル樹脂、他 138.0×181.0 南口友厚氏寄贈

菅井 汲 (すがい くみ SUGAI Kumi/1919-1996)

^{らいじん}雷神 God of Thunder

1958 (昭和33) 油彩、キャンバス 162.6×130.7

空の上で氷^{こおり}や霰^{あられ}となった水がこすれあうことで発生した静電気^{せいでんき}が、高圧になって空気中を伝わるのが雷です。ギリシア神話ではゼウス、北欧神話ではトール (最近^{さいじん}はマイティ・ソーとして映画で活躍しています)、俵屋宗達の描いた《風神雷神図》など、昔から多くの文化で雷は神、あるいは神の武器と考えられてきました。

高井 貞二 (たかい ていじ TAKAI Teiji/1911-1986) ※

^{あめ}雨 Rain

1951 (昭和26) 油彩、キャンバス 161.5×130.2 作者寄贈

坂井 淑恵 (さかい よしえ SAKAI Yoshie/1965-) ※

^{みず}たまり水 Pond

2000 (平成12) 油彩、キャンバス oil on canvas 130.3×162.1 個人蔵

雨のしずく、雨だれ、水滴、水たまりにまたしずくが落ちて、波が広がります。

下村 良之介 (しもむら りょうのすけ SHIMOMURA Ryonosuke/1923-1998)

^{あめ}^{だんそう}雨の断層 Dislocation in Rain

1976 (昭和51) 紙粘土、顔料、紙 123.0×162.5

雨に洗われた断層に浮かび上がる古代魚シーラカンズや葉っぱやいろいろな形が、紙による凹凸で表現されています。

日高 昌克 (ひだか しょうこく HIDAKA Shokoku/1881-1961) ※

^{かざんろうごす}夏山雨後図 Summer Mountains After the Rain

1957 (昭和32) 墨、顔料、紙 40.5×45.5 青木正夫氏寄贈

狩野 光雅 (かのう こうが KANO Koga/1897-1953) ※

^{うご}雨後 After the Rain

1936 (昭和11) 顔料、絹 175.0×229.1

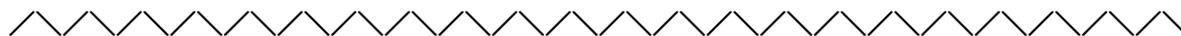
雨が上がった後、山間^{やまあい}に雲がわき起こる景色を二人の画家が異なった描き方であらわしています。

曾我 孝司 (そが たかし SOGA Takashi/1952-) ※

Floating Rain '98

1998 (平成10) 石、銅 135.0×36.0×28.0

題名は「浮かんでいる雨」。作品の上の石をしばらく見つめてみてください。落ちてくる水滴^{すいてき}でない雨を想像できるでしょうか。

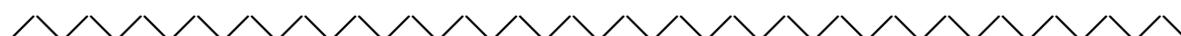


小清水 漸 (こしみず すすむ KOSHIMIZU Susumu/1944-)

花・赤い Flower, Red

1986 (昭和61) 木、水銀朱、水、白大理石 75.0×240.0×240.0 竹田功氏寄贈

机のような形の、大理石にたまる水と花びら。水がそのまま咲きほこる花になるような形。



3. 水の流れ Stream of Water

空から降ってきた水は川^{みづ かわ}となって海^{うみ}にいたります。

内山 りゅう (うちやま りゅう UCHIYAMA Ryu/1962-) ※

安川溪谷 (和歌山県) 水の森 Yasukawa Valley(Wakayama)

2007 (平成19) カラー写真 61.4×61.4 個人蔵

白浜 (和歌山県) 水の森 Shirahama(Wakayama)

2007 (平成19) カラー写真 61.4×91.4 個人蔵

安川溪谷 (和歌山県) 水の森 Yasukawa Valley(Wakayama)

2005 (平成17) カラー写真 61.4×61.4 個人蔵

雨の量^{りょう}が多く、山から海までの距離^{きょり}が短くて角度が急な地形のおかげで、日本は世界でも珍しいほどきれいな水が豊富^{ほうふ}なところです。

亀井 玄兵衛 (かめい げんべい KAMEI Genbei/1901-1977) ※

谷水 Valley Water

1957 (昭和32) 顔料、紙 221.0×92.0 作者寄贈

色づく木々の葉の間を水が流れ落ちていきます。

野村 仁 (のむら ひとし NOMURA Hitoshi/1945-)

自転と重力^{じてん じゅうりょく} Spin&Gravity: for the sea of Potalaka

1982-84 (昭和57-59) 写真 178.0×119.6

夜の海から天上、そして反対側をぐるっと眺め回すと、一筋の光となった那智の滝が落ちていきます。

カロ、アンソニー (CARO, Anthony/1924-2013)

ライン川流域 Rhenish Quarter

1986-87 (昭和61-62) ブロンズ、真鍮 100.0×88.5×37.0

ライン川はスイスに発し、ドイツ・フランスの国境からドイツ国内を流れ、オランダに入って北海にそそぐ長い川です。流域にはストラスブール、カールスルーエ、ボン、ケルン、デュッセルドルフ、バーゼルなどの都市が開け、歴史的にも古代から重要な河川でした。いくつかの部品をつなげて一つの形が作られています。ライン川を思わせるところはあるのでしょうか。

梅原 龍三郎 (うめはら りゅうざぶろう UMEHARA Ryuzaburo/1888-1986)

小川 (ブルターニュ風景) A Small Stream in Bretagne

1909 (明治42) 油彩、キャンバス 24.6×32.4 個人蔵

佐伯 祐三 (さえき ゆうぞう SAEKI Yuzo/1898-1928)

オワーズ河周辺風景 Landscape of the Oise River Area

1924 (大正13) 油彩、キャンバス 45.5×53.0 玉井一郎氏寄贈

ブルターニュはフランスの北西部の地域。オワーズ河もフランス、パリの北を流れる川です。二人の画家は日本からフランスに渡ってその土地の風景を描きました。

神中 糸子 (じんなか いとこ JINNAKA Itoko/1860-1943) ※

海岸風景 A Seashore

1888-92 (明治21-25) 油彩、キャンバス 38.0×80.4 神中茂次氏寄贈

茶色を基調に落ち着いた色彩で、砂浜の向こうに海に突き出した岬が描かれています。幕末の和歌山に生まれた神中糸子は、明治政府が作った日本で最初の美術学校であった工部美術学校で、イタリアから教師として招かれたフォンタネージに絵を習いました。

川口 軌外 (かわぐち きがい KAWAGUCHI Kigai/1892-1966) ※

少女と貝殻 A Girl and Seashells

1934 (昭和9) 油彩、キャンバス 167.3×267.2

貝殻にのった裸の少女が浜辺に流れ着く、ギリシア神話の美の女神、アフロディテの誕生の物語を新しい手法で描いています。

村井 正誠 (むらい まさなり MURAI Masanari/1905-1999) ※

ゴルフジュアの朝 Morning in Golfe-Juan

1934 (昭和9) 油彩、キャンバス 145.3×112.1 作者寄贈

ゴルフジュアはフランス南部、地中海に面した村です。エルバ島から脱出したナポレオンが上陸した場所として知られています。岐阜に生まれ新宮で育った作者がゴルフジュアを訪

れたのは1930（昭和5）年のことでしたが、以後何年にもわたってその風景を主題とした作品に取り組んだ中の一点です。

原 勝四郎（はら かつしろう HARA Katsushiro／1886-1964）※

小湾 Small Bay

1940（昭和15） 油彩、厚紙 59.9×71.7

田辺市で生まれた作者が暮らしていた南紀白浜近辺の風景です。

杉本, ヘンリー（すぎもと へんりー SUGIMOTO, Henry／1900-1990）※

カーメルハイランド海辺 Seashore of Carmel Highland

1937（昭和12） 油彩、キャンパス 80.6×106.0 作者寄贈

カーメルハイランドはアメリカ西海岸、サンフランシスコの南にある町です。和歌山市に生まれ、アメリカに渡った杉本は、和歌山に景色の似たこの場所を描きました。

池田 良二（いけだ りょうじ IKEDA Ryoji／1947- ）

cape watershed（岬の分水嶺）

1988（昭和63） 銅版、紙 55.5×82.4 和歌山版画ビエンナーレ展実行委員会寄贈

北海道、根室に生まれた作家が、故郷の落石無線送信局をテーマにした作品です。

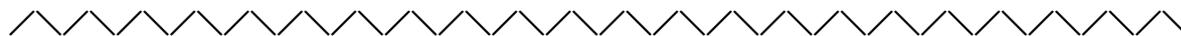


曾我 孝司（そが たかし SOGA Takashi／1952- ）※

重力平面 - 水の家 No.10 A Plane of Gravity: House of Water No. 10

1984（昭和59） ブロンズ、鉄 65×50×110 個人蔵

三本足の生き物のような形ですが、中の平面は水平を保ちます。動きのない水の表面は水平なのです。



4. 水の波紋 Waves of Water

水は波打ち、さまざまな表情を見せてくれます。

堀 浩哉（ほり こうさい HORI Kosai／1947- ）

波光 - 4 Glitter on the Waves 4

1994（平成6） アクリル絵具、墨、和紙、キャンパス 91.0×65.2 田中恒子氏寄贈

稗田 一穂（ひえだ かずほ HIEDA Kazuho／1920- ）※

小漣 Rippling Waves

1970 (昭和45) 顔料、紙 142.2×242.2 作者寄贈

小さなさざなみが起こる水面に白馬が口を近づけています。月が映った水面には、次の瞬間どんな動きが広がるでしょうか。

建島 覚造 (たてはた かくぞう TATEHATA Kakuzo/1919-2006) ※

WAVING FIGURE 142B

1991 (平成3) 木、鉄、ウレタン塗料 164.5×91.1×44.0

題名は「波打つ形」。たがいちがいにならんだ曲面が波を作り出します。

嶋 剛 (しぎ ごう SHIGI Go/1943-)

無題F Untitled F

1982 (昭和57) アクリル絵具、キャンバス 181.8×227.4

打ち寄せる波しぶきを写真そのままに描写した作品です。

福岡 道雄 (ふくおか みちお FUKUOKA Michio/1936-)

石をおとす (2) Dropping Stones (2)

1977 (昭和52) 黒色強化ポリエステル 97.0×46.0×60.5

石を落とそうとしている人物と水面に広がる波が、黒一色で形づくられています。

裕 伊之助 (はざま いのすけ HAZAMA Inosuke/1895-1977) ※

蛙 A Frog

1933 (昭和8) 木版、紙 33.4×30.6

水面に頭をのぞかせた蛙の周囲に広がる波が、ほとんど一筆書きでぐるぐると描かれています。



5. ^{みず なか}水の中のいきもの Creatures in Water

^{みず}水から^{せいめい}生命が生まれました。^{わたし}私たちは^{みず なか}水の中の^{せいめい}いろいろな^{おどろ}生命に^{たの}驚き、ながめて^{たの}楽しめます。

長谷川 潔 (はせがわ きよし HASEGAWA Kiyoshi/1891-1980)

アカリヨムの前の草花 Fleurs devant un aquarium

1969 (昭和44) 銅版、紙 37.2×50.7

「アカリヨム」は^{すいぞくかん}水族館や^{すいそう}水槽を意味するaquariumをフランス語風に発音した読み方。横浜に生まれた長谷川は、1918 (大正7) 年にフランスに渡り、生涯をフランスで送りました。水槽を泳ぐ魚と、その前に生けられた草花が同じ様子で描写されて、不思議な空間を生みだしています。

畑野 織蔵 (はたの おりぞう HATANO Orizo/1908-1992)

ゆめ Dreaming

昭和初期 木版、紙 47.5×37.3

吉原 英雄 (よしはら ひでお YOSHIHARA Hideo/1931-2007)

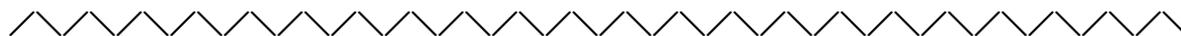
水族館 Aquarium

1956 (昭和31) 石版、紙 66.8×54.7 荒木高子氏寄贈

草間 彌生 (くさま やよい KUSAMA Yayoi/1929-)

金魚 Gold Fish

1984 (昭和59) シルクスクリーン、紙 45.5×52.9



6. ^{みず}水を^あ浴びる Bathing in Water

わたしたちも^{みず}水の中へ。お^ふ風呂、シャワー、^{すい}水泳、^{あつ}暑いと^{みず}水を^あ浴びたくなります。

太田 三郎 (おおた さぶろう OTA Saburo/1884-1969)

銭湯 Bathhouse

1914 (大正3) 木版、紙 22.3×16.0

川西 英 (かわにし ひで KAWANISHI Hide/1894-1965)

銭湯 Bathhouse

1920 (大正9) 木版、紙 23.6×28.9

石井 鶴三 (いしい つるぞう ISHII Tsuruzo/1887-1973)

温泉 Spa

1921 (大正10) 木版、紙 23.5×30.9

コールフィールド, パトリック (CAULFIELD, Patrick/1936-2005)

浴室の鏡 Bathroom Mirror

1968 (昭和43) シルクスクリーン、紙 69.9×92.2

パラモデル (Paramodel)

極楽百景 第八景 - 新世界 パーク温泉 斬新な入浴 -

the hundred landscape of Gokuraku scene no.8 -the new world, Park spa, an ingenious

bathing-

2007 (平成19) ラムダプリント 100.0×120.0 田中恒子氏寄贈

プラレールが敷かれたお風呂でくつろぐ人たち。同じ人の姿がいくつも。東大阪市出身の2人の作家が2003 (平成15) 年から「パラモデル」として作品を作っています。

山本 容子 (やまもと ようこ YAMAMOTO Yoko/1952-)

Summer Shower Show

1977 (昭和52) 銅版、紙 57.2×77.8 ブリッジ寄贈

海岸で並んでシャワーを浴びる海水浴に来た人たちの姿が、まるでひとつの舞台のよう。

建畠 大夢 (たてはた たいむ TATEHATA Taimu/1880-1942) ※

おゆのつかれ Tired after a bath

1913 (大正2) /1970 (昭和45) 鑄造 ブロンズ 68.0×40.0×56.0

お風呂上がりのにぼせてしまったのか、力が抜けてしまった女の子の一瞬の様子をとらえています。

ホックニー, デヴィッド (HOCKNEY, David/1937-)

太い線と細い線による水のリトグラフ (緑と水色と濃い青の淡彩)

Lithograph of Water Made of Thick and Thin Lines, a Green Wash, a Light Blue Wash, and a Dark Blue Wash

1978-80 (昭和53-55) 石版、紙 50.9×70.5

古賀 春江 (こが はるえ KOGA Harue/1895-1933)

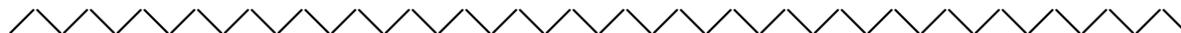
海水浴 Sea Bathing

1922 (大正11) 油彩、キャンバス 91.3×117.0

村井 正誠 (むらい まさなり MURAI Masanari/1905-1999) ※

水浴 Bathers

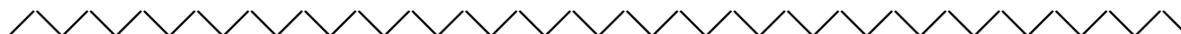
1930 (昭和5) 油彩、キャンバス 98.8×80.8 作者寄贈



草間 彌生 (くさま やよい KUSAMA Yayoi/1929-)

レモンジュース Lemon Juice

1984 (昭和59) シルクスクリーン、紙 52.9×45.5



7. ^{みず}水とからだ Water & Body

^{みず}水はわたしたちのからだの^{なか}中にもあって、わたしたちのからだを^{つく}作っています。

玉置 正敏 (たまき まさとし TAMAKI Masatoshi/1923-2001) ※

汗 Sweat

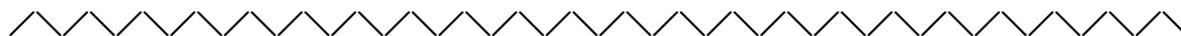
1980 (昭和55) 油彩、キャンバス 181.5×227.4 作者寄贈

上下逆さまの人たちから滴り落ちる汗のしずく。どんな汗でしょう。

ピカソ, パブロ (PICASSO, Pablo/1881-1973)

泣く女 Weeping Woman

1937 (昭和12) 銅版、紙 72.3×49.3



8. 水の中へ Inside of Water

^{なが}流れる^{みず}水、^お落ちる^{みず}水、^{みず}よどむ^{みず}水、^{みず}うずまく^{みず}水、^{じょうはつ}蒸発する^{みず}水、^{みず}いろいろな^{なか}水の中へ。

宇佐美 圭司 (うさみ けいじ USAMI Keiji/1940-2012) ※

ドロージング・山々は難破した船に似て No. 2-1

Drawing: Mountains Bear Parallels to a Wrecked Ship No. 2-1

2000 (平成12) 水彩、顔料インク、紙 60.0×80.0 個人蔵

水彩絵の具による流れるような色彩のあいまに、この作者特有のモチーフである円に内接した4つの人型が浮かんでいます。

坂井 淑恵 (さかい よしえ SAKAI Yoshie/1965-) ※

中の人 A Person Inside

1995 (平成7) 油彩、キャンバス 162.1×162.1 個人蔵

Land's Bottom [地の底]

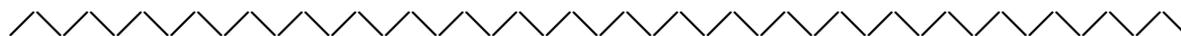
2004 (平成16) 油彩、キャンバス oil on canvas 227.8×182.0 個人蔵

Full Flush [元気はつらつ]

2005 (平成17) 油彩、キャンバス oil on canvas 181.1×259.1 個人蔵

Double [二重]

2017 (平成29) 油彩、キャンバス oil on canvas 61.0×38.0 個人蔵



9. 展示室の外の作品

屋外

スネルソン, ケネス (SNELSON, Kenneth/1927-2016)

着地

1969 (昭和44) ステンレススチール 250.0×1000.0×360.0

建島 覚造 (たてはた かくぞう TATEHATA Kakuzo/1919-2006) ※

MANJI

1982 (昭和57) ステンレススチール 270.0×170.0×75.0 作者寄贈

保田 春彦 (YASUDA Haruhiko/1930-2018) ※

球を覆う幕舎

1994 (平成6) ステンレススチール 208.0×335.0×305.0

ライトコート

保田 春彦 (YASUDA Haruhiko/1930-2018) ※

聚落を囲う壁 II

1994-95 (平成6-7) 鉄 60.0×127.5×451.2

ノグチ, イサム (NOGUCHI, Isamu/1904-1988)

雲の山

1982 (昭和57) 酸化処理した鉄 176.0×113.0×71.8

エントランスホール周辺

秋山 陽 (AKIYAMA You/1953-)

META-VOID

2004 (平成16) 陶 130×125×136

ステラ, フランク (STELLA, Frank/1936-)

ラッカ III

1968 (昭和43) アクリル、キャンバス 304.0×760.0

クルーガー, バーバラ (KRUGER, Barbara/1945-)

無題 (私を覚えていて)

1988 (昭和63) 378.7×268.1×5.0

フラナガン, バリー (FLANAGAN, Barry/1941-2009)

ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎

1989 (平成元) ブロンズ 230.0×187.0×128.5

エントランスホール～2Fテラス

鈴木 久雄 (SUZUKI Hisao/1946-)

塔体 I

1989 (平成元) 鉄 230.0×52.0×54.0 作者寄贈

塔体 III

1989 (平成元) 鉄 230.0×54.0×54.0 作者寄贈

単錐台-II

1984 (昭和59) 鉄 113.0×119.5×120.0

木の現象〈喬木1〉

1997 (平成9) 鍛造ステンレス鋼 244×76×82 作者寄贈

木の現象〈喬木2〉

1997 (平成9) 鍛造ステンレス鋼 244×76×82 作者寄贈

散距離

2008 (平成20) 鍛造ステンレス鋼 472×590×180 作者寄贈

交叉距離

2009 (平成21) 鍛造ステンレス鋼 340×800×624 作者寄贈